

1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、ゆうとは、先生に「読書のきろくをつけてみましょう」といわれ、図書館に本をかりに行くことにしました。

外はすずしい風がふいていて、「秋になったんだな」と思いました。

でも、ゆうとは、ほんとうは本をよむのがあまりとくいではありません。

図書館に着き、たくさんの本がならんでいるたなの前に立ち、「どれをえらばいいのかな」とまよいました。

そのとき、えにひかれて、あたらしいぼうけんの話の本を見つけました。

「これならよめるかも」と思い、そっとなりてみることにしました。

家にかえって、本をひらくと、はじめは文字がいつぱいで、すこしつかれそうになりました。

でも、よみすすめていくうちに、主人公がぼうけんするばめんがあたまにうかび、だんだんつづきが気になってきました。

気がつくくと、ページをめくる手がとまらなくなっていました。

本をとじたとき、ゆうとは、「もう少しよみたかったな」と思いました。

さっきまでの「むずかしそう」という気もちはすっかりなくなり、「また本をよみたい」という気もちにかわっていました。



(1) ゆうとが図書館でえらんだ本は、どのような本でしたか。ただしものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① 文字だけのむずかしい本
- ② えにひかれた、あたらしいぼうけんの話の本
- ③ 先生にすすめられたばんきょうの本
- ④ 友だちがかりていた本

(2) つぎのできごとを、文の内容に合うように、正しいじゅんにならべましょう。

- ① 先生に言われて、図書館に行く。
- ② 家にかえって、本をよみはじめる。
- ③ 本をよんでいるうちに、つづきが気になってくる。
- ④ 図書館で、本をえらんでかりる。



(3) ゆうとの気もちは、はじめとさいごで、どのように変わりましたか。文の内容にそって書きましょう。



1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、ゆうとは、先生に「読書のきろくをつけてみましよう」といわれ、図書館に本をかりに行くことにしました。

外はすずしい風がふいていて、「秋になったんだな」と思いました。

でも、ゆうとは、ほんとうは本をよむのがあまりとくいではありません。

図書館に着き、たくさんの本がならんでいるたなの前に立ち、「どれをえらばいいのかな」とまよいました。

そのとき、えにひかれて、あたらしいぼうけんの話の本を見つけました。

「これならよめるかも」と思い、そっとなりてみることにしました。

家にかえって、本をひらくと、はじめは文字がいつぱいで、すこしつかれそうになりました。

でも、よみすすめていくうちに、主人公がぼうけんするばめんがあたまにうかび、だんだんつづきが気になってきました。

気がつくくと、ページをめくる手がとまらなくなっていました。

本をとじたとき、ゆうとは、「もう少しよみたかったな」と思いました。

さっきまでの「むずかしそう」という気もちはすっかりなくなり、「また本をよみたい」という気もちにかわっていました。



(1) ゆうとが図書館でえらんだ本は、どのような本でしたか。ただしものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① 文字だけのむずかしい本
- ② えにひかれた、あたらしいぼうけんのお話の本
- ③ 先生にすすめられたばんきょうの本
- ④ 友だちがかりていた本

(2) つぎのできごとを、文の内容に合うように、正しいじゅんにならべましょう。

- ① 先生に言われて、図書館に行く。
- ② 家にかえって、本をよみはじめる。
- ③ 本をよんでいるうちに、つづきが気になってくる。
- ④ 図書館で、本をえらんでかりる。

① ↓ ④ ↓ ② ↓ ③

(3) ゆうとの気もちは、はじめとさいごで、どのように変わりましたか。文の内容にそって書きましよう。

解答例) はじめは本をよむのがむずかしそうだと思っていたが、よみすすめるうちにたのしくなり、またよみたいと思うようになった